

戦国から安土桃山へ

の空白部分も少なくありませんが、南山城に即してこの間の概略をあげてみると下の年表のようになります。

やましらのくにいつき
山城国一揆の解体

から、織田信長や豊臣秀吉の時代までの間、戦国の世は目まぐるしく移り変わっていきましました。京都と大和の間に位置した南山城も、くりかえし戦乱の舞台となり、多数の武将や軍隊が出入りし、通りすぎていきました。戦争にともなう日記や記録の消失のため、歴史



検地図 安土桃山時代から江戸時代、くりかえし検地（土地調査）が行われました 玄福寺蔵

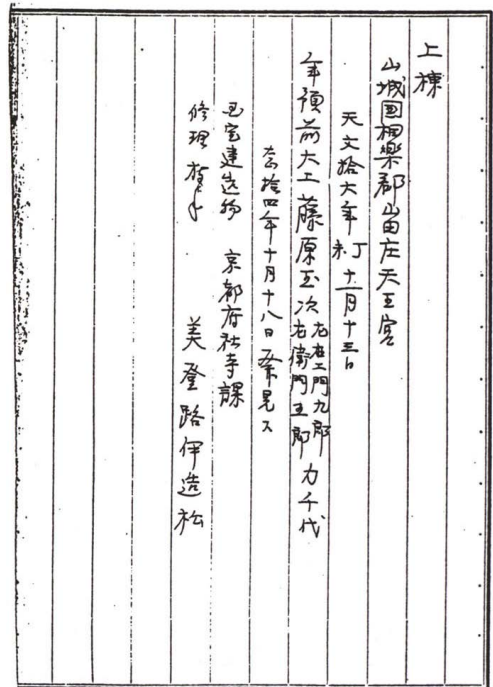
1493（明応2）年	いなやづま 稲屋妻城が落城する（山城国一揆の崩壊）。
1494（明応3）年	いせさだみち 伊勢貞隆にかわり、よしはる 細川義春が山城国守護となる。はたけやまもといえ 畠山基家（義就の子）の兵が山田・菅井を焼く。
1496（明応5）年	まさもと たくざうけんそうえき 細川政元が沢蔵軒宗益（赤沢朝経）を南山城に派遣し、畠山基家の家来遊佐弥六左衛門を攻める。
1498（明応7）年	ふるいちちやういん つついじゆんけん 古市澄胤と筒井順賢の対立が激化し、古市方の逃げ込んだ稲屋妻城を筒井勢が攻め落とす。稲屋妻城にひさのぶ 畠山尚順（政長の子）の家来が入城。
1499（明応8）年	細川政元と筒井尚順の兵が南山城各地で戦う。沢蔵軒宗益の活躍で細川方が勝利する。
1502（文亀2）年	大和攻めのため沢蔵軒宗益の兵がしもごま 下粕に陣をしく。
1504（永正元）年	細川政元が沢蔵軒宗益のついで 追討を命じ、沢蔵軒は山城から敗走する。
1505（永正2）年	沢蔵軒宗益が赦免され、山城・大和の支配権を得る。
1506（永正3）年	沢蔵軒宗益が山城に入り大和を攻める。
1507（永正4）年	赤沢朝経配下の内堀次郎左衛門がほうそ 祝園・山田に布陣し大和勢と戦う。ざくら 柘榴村が焼かれる。
1508（永正5）年	よしおき このころ大内義興が山城国守護に任じられる。

中世 5

1513（永正10）年	下狛の大北源三郎が没する。
1537（天文6）年	北 <small>きたいな</small> 稲 <small>やづま</small> 八間村 <small>そうぼか</small> 惣墓 <small>ごりんとら</small> の地蔵石仏 <small>ぞうりゆう</small> 、および五輪塔が造立される。
1541（天文10）年	山城国 <small>ろうにんしゆう</small> の牢人衆 <small>いで</small> が井出（井手）あたりで道をふさぐ。
1547（天文16）年	山田 <small>てんのうぐう</small> の天王宮の本殿が造立される。
1568（永禄11）年	織田信長 <small>よしあき</small> が足利義昭（室町幕府第15代将軍）をともな <small>じようらく</small> って上洛する。山城・摂津・河内 <small>かわち</small> の諸国が織田信長に従う。
1573（元亀4）年	室町幕府滅亡。
1575（天正3）年	織田信長が山城国 <small>けんち</small> の検地を命じる。織田信長の命 <small>こくじんしゆう</small> で南山城国人衆 <small>えちぜん</small> が越前攻めに出陣。
1581（天正9）年	織田信長が山城国の検地を命じる。
1582（天正10）年	本能寺 <small>ほんのうじ</small> の変。山城国が羽柴秀吉 <small>はしば</small> の領地となる。
1583（天正11）年	羽柴秀吉が山城国の検地を行う。
1589（天正17）年	豊臣秀吉が山城国の検地を行う。
1600（慶長5）年	関ヶ原 <small>せきがはら</small> の戦い。



柘榴の風景



天王宮（新殿神社）^{てんのうぐう しんでん} 棟札発見届 1547（天文16）年の棟札が1925（大正14）年に発見されました

※棟札：棟上げのとき、建築物の由緒や、造立年月日などを記して棟木に打ちつける札（口絵参照）